

ユーザー各位

# IJCAD 2020 バージョンアップ概要

2020年2月

インテリジャパン株式会社は、2020年2月1日に IJCAD 2020 (Build : 200107) をリリースいたしました。本資料では、IJCAD 2020 について前バージョンから新しくなった点をご案内いたします。

IJCAD 2020 での大きな変更点は以下の通りです。

## IJCAD 2020 バージョンアップの要点

1. 互換性を向上させる基本機能の改良
2. 作業効率の向上に役立つ機能の追加と強化

## 目次

IJCAD 2020 バージョンアップの要点 .....	1
互換性を向上させる基本機能の改良.....	3
画層プロパティパレットに対応 .....	3
クイックプロパティに対応 .....	4
作業効率を向上させる機能の追加と強化点.....	5
USB ライセンス オンラインでのバージョンアップに対応 .....	5
バージョン情報ダイアログの変更 .....	6
ワークスペースの表示に関する変更 .....	7
3D の描画方法の一部変更 .....	6
アプリケーションの互換性についての情報.....	8
サポートコンパイラの変更.....	8
開発言語の変更点.....	8
追加されたシステム変数 .....	9
追加されたコマンド .....	9

画面は開発中のものにつき、製品とは異なる場合があります。

次ページ以降、各見出しの右に表示されているカッコ内の表記は対象となる IJCAD のグレードです。

例：(LT/STD/PRO) … すべてのグレード、(STD/PRO) … LT 以外のグレード

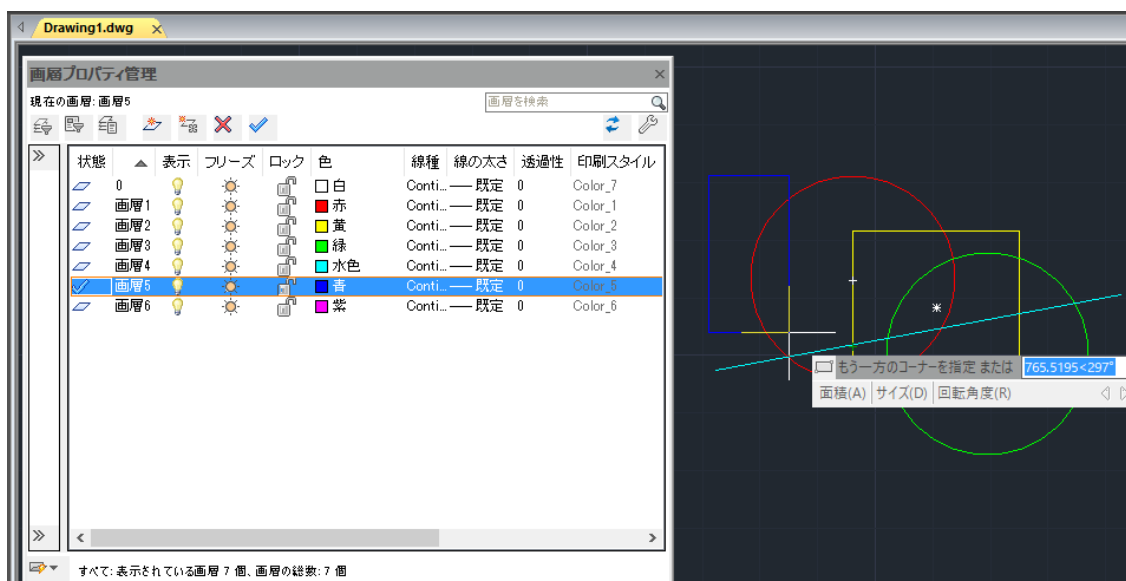
## 互換性を向上させる基本機能の改良

IJCAD 2020 は基本機能について、さらなる改良が施され AutoCAD からよりスムーズに移行していただける製品に仕上がっております。

### 画層プロパティパレットに対応

( LT / STD / PRO )

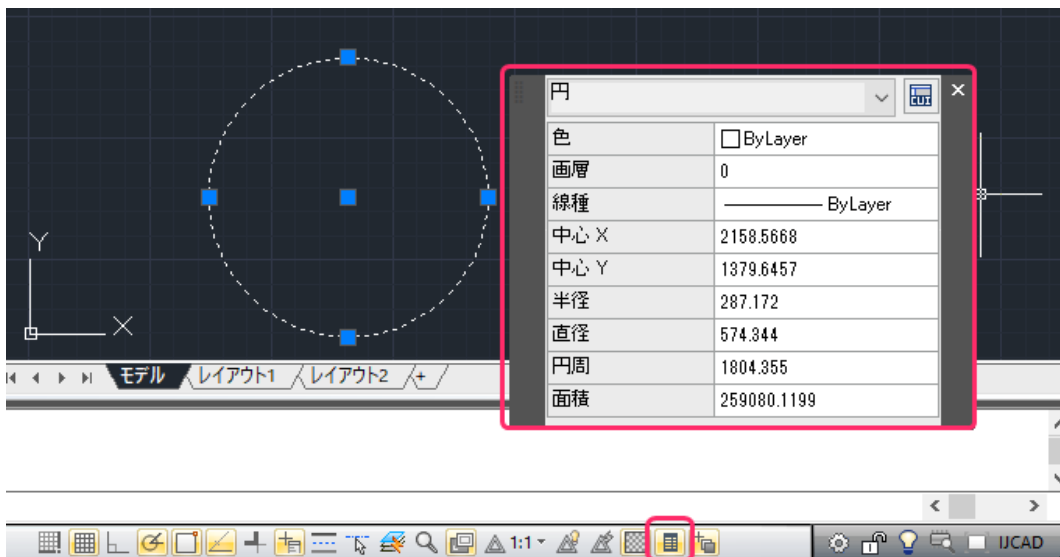
画層プロパティ管理がパレット対応し、画層情報を確認しながら作図などの操作が可能になりました。常時表示させておくことも可能です。



## クイックプロパティに対応

( LT / STD / PRO )

オブジェクトを選択するだけでプロパティ情報を表示できるようになりました。



ステータスバーにて機能を ON にした場合はオブジェクトを選択する毎にクイックプロパティが表示されます。

一時的にクイックプロパティ機能を使用したい場合には QUICKPROPERTIES コマンドを起動してからオブジェクトを選択してください。

表示項目は CUI ダイアログより調整可能です。

## 作業効率を向上させる機能の追加と強化点

IJCAD 2020 では、お客様より頂いたフィードバックを参考に、作図の作業性を向上させる様々な機能追加や既存機能の改良が施されています。それらの機能の概要を本項目にて解説します。

USB ライセンス オンラインでのバージョンアップに対応 (LT / STD / PRO)

これまで USB 版のライセンスをお使いいただいていたお客様がバージョンアップされる際にはメールにて申請を行っていただいていたおりましたが、IJCAD 2020 からはダイアログ上でのオンライン申請が可能になりました。

IJCAD UsbUpdater []

ユーザー情報

会社名  法人  個人

登録者名

電話番号

メールアドレス

コンピュータ名

製品情報

シリアルキー 新

旧

USB情報

再読込

オンライン更新

メールによる更新手続き

更新承認ファイルの申請

更新承認ファイル読み込み

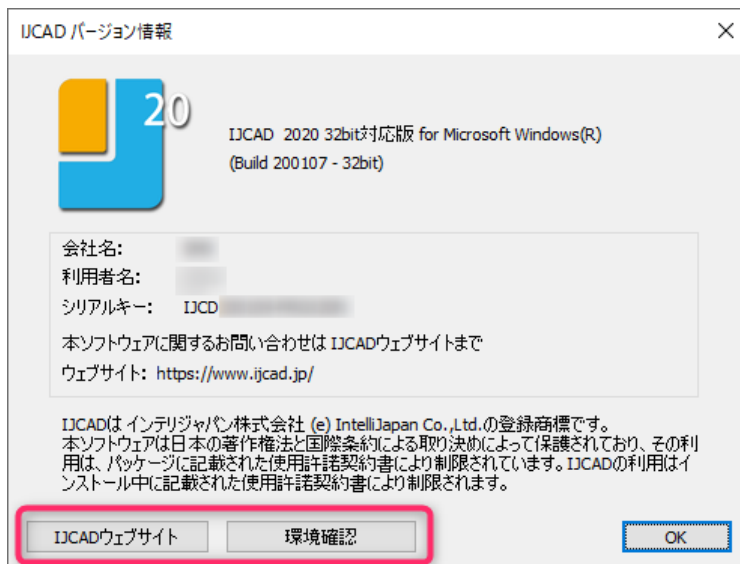
クリップボードへのコピー

操作の手順や注意点などの詳細は別紙「IJCAD 2020 セットアップマニュアル.pdf」の「7. バージョンアップのインストール」の「7-2. USB 版」をご覧ください。

## バージョン情報ダイアログの変更

( LT / STD / PRO )

ヘルプタブ内の「バージョン情報」で表示される「IJCAD バージョン情報」ダイアログが新しくなりました。

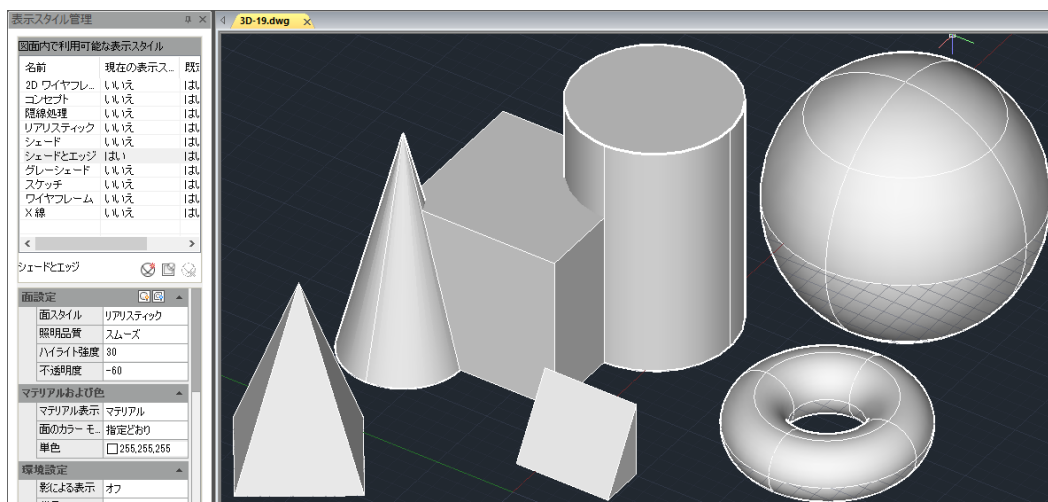


IJCAD 製品ページが起動する「IJCAD ウェブサイト」ボタンと、サポートへお問い合わせいただいた際にお伺いしている IJCAD ご利用環境の情報を自動で書き出すプログラムが起動する「環境確認」ボタンが実装されました。ぜひお役立てください。

## 3D の描画方法の一部変更

( LT / STD / PRO )

IJCAD 2020 では 3D オブジェクトの表示が一部変更されました。表示が AutoCAD に近付き、滑らかに表現されるようになりました。（例：表示スタイル「シェードとエッジ」）



## ワークスペースの表示に関する変更

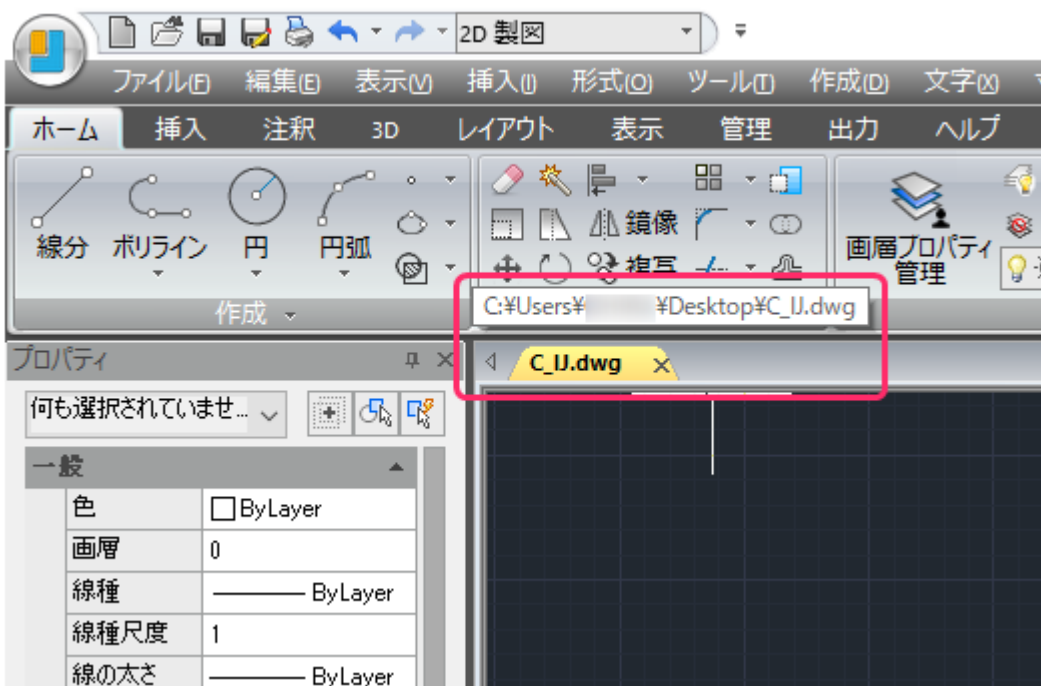
( LT / STD / PRO )

## ● リボンメニュー

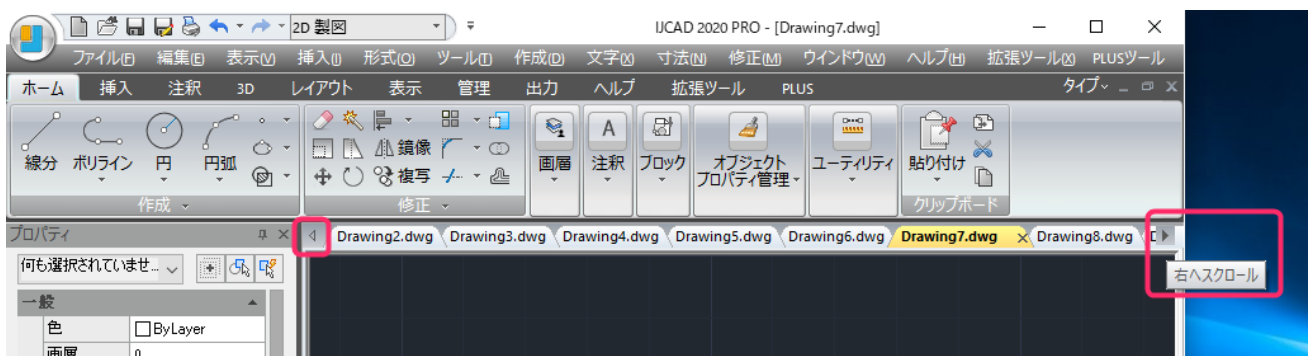
IJCAD 終了時に表示させていたリボンメニューが次回起動時に引き継がれるようになりました。

## ● ファイルタブ

ファイルタブにマウスカーソルを合わせるとファイルのフルパスが表示されるようになりました。



また、複数の図面を開いてファイルタブに表示し切れなくなったものは両端の◀▶ボタンでスクロールして表示できるようになりました。



## アプリケーションの互換性についての情報

この項目ではカスタマイズや、アプリケーション開発についての注意点の概要を記載します。

### サポートコンパイラの変更

IJCAD 2020 から、GRX と.NET API でお使いいただくコンパイラが「Visual Studio 2010」から「Visual Studio 2017」（バージョン 15.9.17 以降）へと変更されます。

### 開発言語の変更点

言語	変更の内容
DIESEL マクロ	変更はありません。
AutoLISP	変更はありません。
VBA	変更はありません。
.NET API	サポートされる.Net Framework が「.Net Framework 4.8」に変更されました。それに伴い、IJCAD 2020 のアセンブリファイルを参照し、.Net Framework を「4.8」で再ビルドする必要があります。一部のクラスやメソッド、プロパティが変更されているケースがありますので、その場合はソースコードに適切な修正を加えてください。
GRX	前バージョンの IJCAD とは非バイナリ互換となりました。 IJCAD 2019 以前に作成されたアプリケーションはそのままではロードできません。新しい開発環境である Visual Studio 2017 を使い、IJCAD 2020 用 GRXSDK に参照を変更して、再ビルドする必要があります。

IJCAD の開発用 SDK は製品には付属しておりません。

GRX および.NET API 開発者向けの資料を別途ご用意しています。

いずれも必要な方はお問い合わせください。

IJCAD ヘルプセンター → <https://support.ijcad.jp/hc/ja>

IJCAD 2020 開発向けヘルプ → <https://support.ijcad.jp/hc/ja/articles/900000135263>



#### 追加されたシステム変数

- QPMODE：クイックプロパティモード

#### 追加されたコマンド

- QUICKPROPERTIES：クイックプロパティ コマンド

---

#### <IJCAD に関するお問い合わせ窓口>

##### システムメトリックス株式会社

ウェブ：<https://www.ijcad.jp/>

電話：名古屋（本社）：052-219-8831 / 東京：03-3537-3282 / 神戸：078-599-8425